

パチンコ・パチスロ産業 14 団体共催／新年賀詞交歓会

1月27日／東京・新橋 第一ホテル東京

「14 団体の垣根を超えて、身近で手軽な大衆娯楽として、ファンが安心して遊べる環境を提供」と原田代表が強調 !! 諸問題の見直しも提言



震災後の復興支援、健全化への取組み、射幸性の抑制、のめり込み対処、リサイクル対応など各団体トップ、来賓関係者がそれぞれ所感を披瀝、“結束強化” 約す

遊技業界 14 団体共催の『パチンコ・パチスロ産業新年賀詞交歓会』が、会場をビッシリと埋め尽くす出席者で大盛況のもと開催された。14 団体の理解を得て、代表挨拶で登壇した原田實全日遊連理事長は以下の要旨で新年の抱負を熱く語った。

——昨年、東日本大震災により、東北地方を中心に多くの方が犠牲になりました。被災された方々は、長年住み慣れた家を失い、職を失い、また安らかに語り合う家族、兄弟姉妹などを失った方も多く、それまでの生活とは一変されています。津波が大きな二次災害を生み、悲しさや苦しさが未だぬぐえきれない時間が経過。日常当たり前であったものが、突如当たり前でなくなることの恐ろしさ。また逆に当たり前のありがたさを再認識された方も多いと思います。私たちの業界にも、様々な変化が訪れ、今まで当たり前だったこと、慣行化していたことを、もう一度見直すべき時を迎えていると思います。身近で手軽な大衆娯楽としての在り方、射幸性の抑制、のめり込みへの対処、廃棄・リサイクルへの適正な対応、そして震災復興支援を始めとする積極的な社会貢献活動など、その取組みも強化し、更には当面する諸問題全てが解決に向き、業界にとって良い方向へ向くよう努めていきたいと思っています。今年は辰（龍）の年ということで、天に向かって昇る龍の如く、業界が益々発展繁栄するよう祈念しております。ただし龍の両手にある鋭い爪に搔き込まれ、また搔き消されない



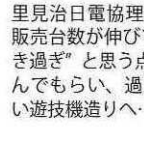
原田實全日遊連理事長が14団体を代表し挨拶。「辰（龍）の年に肖り、諸問題全てが解決に向かい、業界が良い方向へ進むよう努力を」と強調



PSA、認証協、PCSA、余暇進、同友会、補給組合、メダル工業会、自工会、回胴遊商、全商協、日電協、日工組、日遊協、全日遊連と遊技産業 14 団体トップが一堂に会した（日工組の市原理事長は欠席で石橋副理事長が代理出席）



警察庁生活安全局長の加藤達也保安課長は祝辞の中で「風営法の主旨に則り、規制遵守を徹底、健全な産業の確立を」との要旨で言及



里見治日電協理事長は「パチスロは販売台数が伸びてはいるが、“少し行き過ぎ”と思う点もある。ファンに喜んでもらい、過度の射幸性にならない遊技機造りへ…」との要旨で挨拶



リカバリーサポート・ネットワークの西村直之代表理事は「震災後に一時減った相談件数も夏場以降戻り、今月は 100 件超に。厳しく辛い世相は、ホールに足を向かわせる“潜伏者”を誘導してしまう」と指摘



深谷友尋日遊協会長は「“健全化” 無くして遊技業界は語れない。今後はパチンコ・パチスロをしない人の目線にも配慮、産業の在り方を模索する必要がある」とし乾杯の発声 !!

ように充分注意もしながら、本年を全うしていきたくと思っています——。

続いては、欠席した市原高明理事長代理挨拶を行った日工組の石橋保彦副理事長が以下の要旨を強調した。

——昨年の 3.11 は、忘れてはいけない日となりました。先日の東京大学・地震研究所チームの発表によれば、今後 4 年以内に M7 規模の直下型地震が南関東を含む首都圏で発生する割合が 70% だと。我々には天変地異は変えられません、ただ備えるのみです。今我々業界には、様々な意味でアゲンストの風が吹いています。しかし、これらには必ず何らかの原因が有る筈です。天変地異とは違い、それを業界全体で炙り出し、何としても変えていく。明けぬ夜は無いのです。健全な発展をするため、明るく元気な“春” が来るこ



東日本大震災で被災、東北 3 県遊協の理事長が、“復興支援” に対する謝辞と共に今後の展望等を力強く語った。左から福島吉川永造理事長、岩手の秋山照明理事長、宮城の竹田隆理事長

とを心より願っています——。

日電協の里見治理事長は「パチスロは販売台数が伸びてはいるが、“ちょっと行き過ぎなのかな” と思う点もある。過度の射幸性にならないよう、ファンに喜んでもらう遊技機造りへ英知を絞りたいたい」と挨拶。リカバリーサポート・ネットワーク西村代表理事は「厳しい社会情勢が“潜伏者” をホールに向かわせる。問題意識の共有を !!」と指摘。